

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	農業後継者対策事業			事業コード	1472
担当課等	所属名	農業委員会事務局		担当係名	
	課長名	農業委員会事務局 農業委員会事務局	担当者名	川村 東馬	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 1目 農業後継者対策事業(30-06)	
	特記事項					
事業期間	○ 単年度      ● 単年度繰返      ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 平成4年度～)		
事務事業の概要	各地区調査会からの推薦に基づき結婚相談員を委嘱して、農業後継者の結婚相談事業を行う。					
根拠法令等	農業委員会等に関する法律第6条第2項					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
都南村で行われていた農業後継者結婚相談事業を平成4年の市村合併を機に市内全域に拡大実施した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
成婚数の向上を図るため有効な対応が求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
結婚に対する意識が変化しつつある時代でもあり、晩婚化や独身人生を選択肢と捉える人も増加しているが、家族経営を基本とする農業の発展のためには農業後継者結婚相談事業は必要不可欠である。今後も、農家の婿・嫁不足は非常に難しい状況であることに変わりはない。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	独身の農業後継者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 独身の農業後継者数 B. C.	単位 単位 単位	人  人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 市内を11地区に区分された地区調査会からの推薦に基づき、結婚相談員を委嘱。結婚を望む成年男女の登録。相談員による結婚相談と出会いの場となる農業体験交流イベントを企画・実施。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 基本的には前年度と同様だが、相談員が活動しやすいよう登録者の意識調査や台帳整備など情報整理を行う。また、交流イベントではできるだけ多く男女の出会いの場をつくるよう企画する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 結婚相談登録者数 B. 結婚相談受付件数 C. イベント参加者数	単位 単位 単位	人 件 人
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	農業後継者の成婚を支援する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 成婚件数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】 C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位 単位 単位	件  件
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位:人) 農業純生産額(単位:百万円) 林業純生産額(単位:百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	独身の農業後継者数	人	300	300	300	300	300	300	24年度 300
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	結婚相談登録者数	人	21	30	32	26	30	30	24年度 30
活動 指標B	結婚相談受付件数	件	5	5	5	5	5	5	24年度 5
活動 指標C	イベント参加者数	人	60	65	60	70	70	60	24年度 70
成果 指標A	成婚件数	件	0	0	2	0	1	1	24年度 1
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	406	436	535	435	533	533	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	406	436	535	435	533	533	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	406	436	535	435	533	533	*****
	延べ業務時間数	時間	224	256	256	256	256	256	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	896	1,024	1,024	1,024	1,024	1,024	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,302	1,460	1,559	1,459	1,557	1,557	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 農業後継者の成婚は、農業経営の意欲向上と担い手確保の上からも重要である。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 農業基盤の維持には農家の安定した経営が求められており、その礎として農業後継者対策に係る公的な結婚相談事業が必要である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 農業委員会が行う農業後継者対策事業であり、現行の対象が妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 農業後継者対策として行っているが、農家の婿・嫁問題は深刻であり現行の意図で妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 結婚相談登録者の掘り起こしと成婚に向けた交流事業等の企画・実施。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 交流事業を行っても成婚実績が少ないのが現状であり、農家の後継者不足は深刻な状況を打開するため廃止・休止はありえない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: (財)盛岡市社会福祉協議会の結婚相談事業及び特定非営利活動法人少子高齢化対策支援協議会の結婚支援事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 農業委員会の結婚相談事業は、農業後継者対策に限定して行なっている。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費は結婚相談員の報酬・報償金、成婚者に対するの記念品代、結婚相談員連絡協議会への負担金が大半であり削減できない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: この事業に限定した人員を確保しているわけではないので、人件費の削減はできない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 盛岡市の広報等を媒体にして交流会等への参加を呼びかけている。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 交流会等の開催費用は、参加者負担を原則としている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること                  結婚相談登録者の結婚観・条件などを的確に把握し、結婚相談員による適切な対応と成婚に向けての意識の向上を図る。また、その活動実績をPRLして新規の登録者を掘り起こし、農家の後継者対策に努める。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)                  未婚者の結婚に対する積極性が希薄となっており、特に農家の後継者となるとさらに成婚が難しい状況であることから、相談員の資質向上を計るため研修会等への参加を促すとともに、他都市の成功例を参考にするなどの対応が必要である。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>結婚相談登録者が相談員との面談やふれあい交流会に消極的な状況であり、登録者の意向や交流会への参加を促進するほか、結婚相談員の活動の支援に努める必要がある。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>結婚相談登録者の成婚に向け、登録者の意向の把握や結婚相談員と登録者のコミュニケーション、相談員同士の情報交換を図るとともに、魅力ある交流会を企画して参加者の増加に努めたい。</p>														